

# 安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## ■ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

### 危害や損害とその程度の区分

**警告** この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

**注意** この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

## 警告

### このような場所には取り付けない

※器具の落下によるけがの原因となります。

禁止



- 器具の改造、構成部品(ソケットなど)の交換はしない。※火災・感電・故障の原因となります。
- 器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない。※感電・故障の原因となります。

## 注意

### ●定格電圧 交流100V以外で使用しない。

過熱し、火災の原因となります。

### ●浴室などの湿気の多い場所や常時温度の高い場所(35°C以上)では使用しない。

絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。

### ●調光器では使用しない(100%点灯でも使用不可)。

過熱し、火災の原因となります。

### ●お手入れの際や、蛍光ランプの交換の際は、必ず電源を切る。

電源を切らないと感電の原因となります。

### ●器具の真下にストーブなどを置かない。

過熱し、火災の原因となります。

### ●屋外で使用しない(この器具は屋内専用です)。

火災・感電の原因となります。

### ●点灯中および消灯直後は蛍光ランプが熱くなっているので触らない。

やけどの原因となります。

### ●器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない。

器具の落下によるけがの原因となります。

●照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化が進行していきます。点検・交換をお勧めします。点検せず長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。

# お手入れ

●明るく安全にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

## 器具のお手入れ

●器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落としてください。

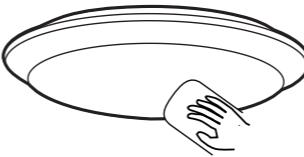
●汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸して、よくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる。

※石けんとは天然油脂を原料としたものです。(商品表示が"石けん"であることを確認してください。)

**!** ●お手入れの際は、電源を切る。

必ず守る

※電源を切らないと、感電の原因となります。



●みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり殺虫剤をかけない。

※割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



みがき粉 ベンジン  
合成洗剤 化学ぞうきん  
殺虫剤

## 蛍光ランプ取り扱い上のご注意



●点灯中および消灯直後は、ランプが熱くなっているので、触らない。

※やけどの原因となります。



●蛍光ランプの口金は少し動くようになっていますが、無理に回さない。

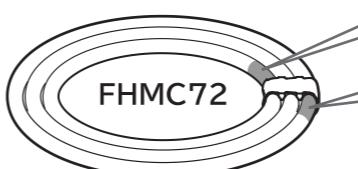
※ランプ破損や不点灯の原因となります。



●ランプホルダーをランプに強く当てる。

※ランプが破損し、けがの原因となります。

## 蛍光ランプの交換時期について



●口金付近の細い管が、それぞれ全周にわたって黒ずみ、明るさが低下しましたら寿命ですので新しい蛍光ランプとお取り替えください。

●調光で点灯した場合、比較的早い時期に黒い斑点が発生することがあります、所定のランプ照度や寿命性能は満足しますので、そのままご使用ください。

蛍光ランプを交換するときは  
日立マルチリング72形  
FHMC72 を求めください。

# 仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

器具	仕様	定格電圧	周波数	消費電力	適合ランプ	LED保安灯 点灯時消費電力	ランプ消灯時 待機電力
72W形		交流 100V	50Hz-60Hz 共用	60W	日立 マルチリング72形 FHMC72	1.1W	0.9W

●この器具はリモコン機能付き器具のため、リモコンで消灯した状態では上記の待機電力を消費しています。長期間ご使用にならないときは電源(壁スイッチまたはブレーカー)を切り、節電を心がけてください。ブレーカーを切る場合、同一ブレーカーに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。